

# 赤穂市女性交流センターだより

第14号 2018.4

女性センターには、女性問題・男性問題に関する図書・行政資料をそろえ、誰でも自由に閲覧できるような情報図書コーナーがありますのでご利用下さい。

「逃げたい娘 諦めない母」

朝倉真弓・信田さよ子

幻冬社刊



朝倉さんは経営・起業・転職・働き方などをテーマに取材・執筆をされているライターさんで、信田さんは臨床心理士さんです。

母親との関係に重さを感じている架空の女性の話をもとに、娘の気力を奪う母の支配からどのように自分を守り、どうやって母との適切な距離を作り出していくかを考えていく内容になっています。重たいテーマですが、母・娘の一話完結の連続シナリオのようになっていて、どんどん読み進めていけます。ひと呼吸おけるかのように、一話ごとに母親への対応の仕方と心をどのように整理すればよいか書かれているので落ち着きます。一度に解決されるものではありませんが、少しずつ気持ちを強くしてくれる本ではないかと思います。  
(女性交流センター蔵書)

「しかえししないよ」

日野原重明

朝日新聞出版刊



お医者さんであった日野原さんと、絵本画家のいわさきちひろさんによる絵本です。

詩の一部に『いのちを大切にすることは いのちを上手に使うこと つまり君のもつ時間を 君だけでなく誰かのために使うこと』とあり、また最後に『誰かの時間と 君の時間が一緒になって 君のいのちが膨らむんだよ』と締めくくられ、優しく頭をなでてもらった気分になりました。挿絵の子供たちは、とても愛らしく、これらの詩と絵によって、いのちについて希望をもらい、心が慰められました。他にも 11 の詩が収められています。大人にも子供にもおすすめです。



5月15日(火)・6月19日(火)は、カウンセラーによる相談日です。ご希望の方は、市民対話課(☎43-6818)または女性交流センター(☎43-7800)にご予約下さい。

# こんな表

## 見たことありませんか？



### GGI(ジェンダー・ギャップ指数)

114位/144か国

2017年

| 順位  | 国名     | GGI値  |
|-----|--------|-------|
| 1   | アイスランド | 0.878 |
| 2   | ノルウェー  | 0.830 |
| 3   | フィンランド | 0.823 |
| 4   | ルワンダ   | 0.822 |
| 5   | スウェーデン | 0.816 |
| 6   | ニカラグア  | 0.814 |
| 7   | スロベニア  | 0.805 |
| 8   | アイルランド | 0.794 |
| -   | -      | -     |
| 114 | 日本     | 0.657 |

経済、教育、保健、政治の各分野毎に各使用データをウェイト付けして総合値を算出。その分野毎総合値を単純平均してジェンダー・ギャップ指数を算出。0が完全不平等、1が完全平等。

GGIはスイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が独自に算定したもので、4分野のデータから構成された男女格差を測る指数です。日本は、144か国中114位（前回平成29年は144か国中111位）で、依然として政治・経済分野の値が低い状況です。ドイツ12位、英国15位、米国49位、中国100位でいずれも日本より上位で、韓国が118位です。4分野の日本の順位は、経済(114位)、教育(74位)、保健(1位)、政治(123位)です。

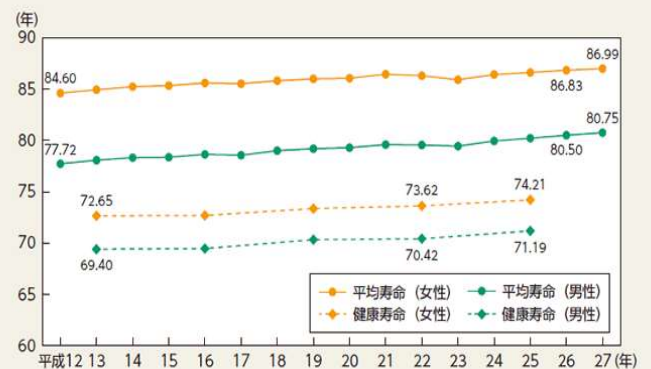
世界の男女格差ランキングで日本はなんと114位!その低い理由の一つは国会議員の中に占める女性議員の割合が大変低いことにあります。もし女性国会議員が多ければ、女性の立場に立った政策も進みやすいですね。GGI(ジェンダー・ギャップ指数)の他にGII(ジェンダー・不平等指数)というものがあります。こちらの日本のランキングは159か国中21位で、GGIとは比較する分野が違うために大きく順位が違います。日本の女性の現状は、保健分野では世界的にとっても高い環境で、教育面でも恵まれた環境にありますが、経済・政治分野では女性が進出できていないということです。数字で表すとよりわかりやすくなりますね。



平成27年の平均寿命は、女性は86.99年男性は80.75年です。それでは、平成25年の健康寿命は、女性は\_\_年 男性は\_\_年でしょうか？



I-6-1図 平均寿命と健康寿命の推移(男女別)



(備考) 1. 平均寿命は、平成12年、17年、22年及び27年は厚生労働省「完全寿命表」、その他の年は厚生労働省「簡易寿命表」より作成。健康寿命は、13年から22年は厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」、25年は厚生労働省資料より作成。  
2. 健康寿命は、日常生活に制限のない期間。